

The best memory

ホームステイ最終日に行われたサンキューディナーパーティー。それは、私にとって忘れられないものになりました。桃太郎の劇やよさこいソーランなどの出し物を通して、来てくれたみんなと一緒に笑いあえたことがなによりうれしかったです。桃太郎は日本の昔話なので、来てくれたみんなには、難しかったかもしれませんが、言葉が通じなくても心は通じている。そう感じました。

(塩津中 小林 瑞季)

最後のDinner

ホストファミリーと別れる前夜、感謝の意を込めてディナーパーティーを行いました。僕たちが催したのは、福笑い、めんこ、けん玉、桃太郎の寸劇、ヨサコイです。日本の伝統的なもので、わからなかった所もあったと思いますが、皆とても楽しそうに参加し、観てくれて嬉しかったです。明日が別れという事もすっかり忘れ、思う存分楽しみ、時間がとても短く感じられました。

(蒲郡中 稲葉 竜佳)

Thank you!

そっかー ありがとうー!

ホームステイ最後の夜のサンキューパーティー。仲間で力を合わせ、出し物を披露しました。想像以上の盛り上がりで、オーストラリアの人達と心が一つになり、楽しむ事の大切さを教えてもらいました。初め、ドキドキしながら英語で司会をしていましたが、最後は皆の盛り上がりのおかげで絶対好調でした。オーストラリアと仲間や先生が大好きになりました。

(中部中 鈴木 理仁)

ナチュラルなオージー

私はオーストラリアに行って現地の人々の豊かさや広大な自然にふられたと思います。ホストファミリーとスーパーへ買い物に行った時、「あなたは日本人ですか？楽しんでいてね。」と話しかけられました。うれしくて「オーストラリアってすごい！」と心から思いました。今回の研修で、さまざまなことを学ぶ機会を与えられた事に感謝しています。

(中部中 佐藤 礼菜)

それでいいの!?

オーストラリア!!

簡単にゴミを学校に捨てていく彼らたち。日本では考えられない事です。なぜ学校にゴミを捨てるの？と聞くと、「だってゴミを拾うおじさんの仕事がなくなっちゃうじゃない。」と言い返されました。一瞬絶句。「そういう考えもあるのか」とも思いましたが、やっぱり「おかしいぞ」との思いが強く残りました。私はこの体験から、改めて日本の良さを知る事ができたと思っています。

(形原中 岩瀬 明子)

心が通じたBest friends

僕はブラックバーン校に行けて本当に良かったと思います。なぜなら、言葉が通じなくても、心が通じ合ったからです。英語でゆっくり話してくれたり、ハグという挨拶を覚えてくれたり、サッカーもしました。別れの時は、心が熱くなるほど寂しかったです。また必ず会いたいと思っっています。ありがとう。

(三谷中 金森 貴大)

「伝えろ」と「伝えろ」

ツアーに参加することが決まった時、嬉しかったのですが、英語に対しての不安が勝っていました。英語を話さなければいけないのに上手く伝えられず、しどろもどろになってしまう時がありました。そんな時、英語が伝わらなくてもジェスチャーや表情で伝えることができる、ということを学びました。このツアーで、自分の積極性が大きく変わったと思います。

(大塚中 白井 那奈)

全行程を通じて、オーストラリアの人の温かさや思いやりにふれ、充実した日々を過ごすことができた実感しました。

